

チャペル週報

No.16

2023.10.2～10.6

一同が食事をしているとき、
イエスはパンをとり、賛美の祈りを唱えて、
それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。
「取って食べなさい。これはわたしの体である。」
マタイによる福音書 26章26節



Central Garden (神戸三田キャンパス)

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時間：西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30～11:00 神戸三田キャンパス 10:40～11:10
場所：各学部チャペル（ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂）

10月2日(月) **神
経
人
建** 夏期派遣実習報告 酒井 晋弥（神学研究科 M2年）
李 相勲（宣教師、経済学部准教授）
前川 裕（理・工・生環学部宗教主事）
Christian Triebel（宣教師、学長直属助教）

10月3日(火) **神
文
社
法
経
商
国
理・工・生環
総
教** 夏期派遣実習報告 草地 賢太（神学部卒業生）
Andreas Rusterholz（宗教主事）
人間らしさとは③ 中道 基夫（院長）
大宮 有博（宗教主事）
「世界アルツハイマーデー」を覚えて 舟木 讓（宗教主事）
木原 桂二（宗教主事）
平林 孝裕（宗教主事）
前川 裕（宗教主事）
実 哲也（総合政策学部教授）
献血実行委員会

10月4日(水) **神
社
法
商
人
国
理・工・生環
教** 臨床牧会実習報告 平松 麻那（神学研究科 M2年）
献血実行委員会
Christian M. Hermansen（宣教師、法学部教授）
藤沢 武史（商学部教授）
嶺重 淑（宗教主事）
沼田 和也（日本キリスト教団 王子北教会牧師）
前川 裕（宗教主事）
井上 智（宗教センター宗教主事）

10月5日(木) **神
文
社
法
経
商
人
国
総
聖和** 「私の大切な場所」② 水野 隆一（神学部教授）
Andreas Rusterholz（宗教主事）
人間らしさとは④ 江見 圭司（文学部講師）
献血実行委員会
創立記念日を覚えて（最終回） 枝川 豊（高中部長）
木原 桂二（宗教主事）
新免 貢（宮城学院女子大学名誉教授）
Christian Triebel（宣教師、学長直属助教）
細見 和志（総合政策学部教授）
幼稚園・保育所実習から学んだこと（保育科2年生）

10月6日(金) **神
文
経
理・工・生環** 「私の大切な場所」③ 橋本 祐樹（神学部准教授）
Chapel in English Andreas Rusterholz（宗教主事）
秋の献血週間を覚えて 献血実行委員会
小林 真綾（ヒューマンサービス支援室ボランティアコーディネーター）

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10～8:30 ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

10月6日(金) 建築学部のために 八木 康夫（建築学部長）

10月13日(金) 秋季宗教運動のために 山内 信子（伝道部長）

※学生・教職員の方々に開かれた祈祷会です。Zoom 併用で実施していますのでぜひご参加ください。Zoom
でご参加希望の学生・教職員の方は、宗教センター（shukyocenter@kwansei.ac.jp）へ

① メールアドレス ② お名前 ③ 所属 ④ 関学との関係（学生等）をメールでお知らせください

平和がウェーブのように一世界聖餐日（10/1）を覚えて

李 相勳

世界中の多くのプロテスタント教会は、10月の第一日曜日を世界聖餐日として守り、その日の礼拝において聖餐式を執り行っています。聖餐式とは、イエス・キリストを象徴するパンとぶどう酒に与る、キリスト教において最も重要な儀式の一つとされているものですが、毎週日曜日の礼拝毎に聖餐式を行う教会もあれば、年2・3回のみ実施するという教会もあります。その聖餐式を世界の教会が同日に行う世界聖餐日は、どのような意図をもって始められたのでしょうか。

世界聖餐日は、1933年に米国ピッツバーグにある一つの長老派教会が、教派を越えたキリスト者の一致への願いを込めて始めたのがその起源であると言われていています。その後、長老派教会内で徐々に広がりを見せる中、1940年には超教派の組織であるアメリカ連邦教会協議会（米国 NCC の前身）によってその実施が世界に向けて呼びかけられるようになります。時は戦争の時代であり、世界が暗闇に包まれていた時代でした。すなわち世界聖餐日には、世界平和に向けて一致しようとの思いが込められていたと言えます。

ところで聖餐は、最後の晩餐だけでなく、イエス・キリストがその活動の中で人々と共に食事をしたことにも由来すると考えられています。イエスは当時差別され、周縁に追いやられた人々と共に食卓を囲みました。このことを通してイエスは、すべての人のいのちが肯定されることこそが平和な状態であることを教えてくださっているとも言えるでしょう。

世界聖餐日には、地域によって時差があるため、世界の教会は同時刻に聖餐式を一斉に行うのではなく、日の出の早い地域の教会から順に聖餐式が実施される形となります。そのことをある人は、競技場などにおいて観客同士が協力してつくるウェーブに譬えています。世界聖餐日には、聖餐のウェーブが地球を一周するのです。平和に向けた一致への人々の思いと訴えがウェーブとして地球を一周する姿を想像する時、何だか心が高まらないでしょうか。

私たちが生きる社会には多くの暴力が存在しています。世界聖餐日に込められた思いを覚えつつ、単なる「観客」としてではなく、平和をつくり出す「プレイヤー」として平和に向けた一致のためのウェーブに何らかの形で参加する私たちでありたいと思います。

（宣教師、経済学部准教授）

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内



院長室からのビデオメッセージ「風に思う」を配信しています。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。(月2回程度更新されます)
<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou>「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回、原則第2木曜日にチャペルアワーを開催します。どなたでもご自由にご参加ください。

10月12日(木) 17:50~18:10 打樋 啓史(宗教総主事) 1405教室

11月9日(木) 17:50~18:10 嶺重 淑(大学宗教主事) 1405教室

●秋の献血週間のお知らせ(西宮上ヶ原キャンパス)

宗教総部では、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

日時：10月12日(木)~13日(金) 10:30~11:30/12:40~17:00

場所：吉岡記念館ラウンジ

主催：宗教総部献血実行委員会

●関西学院チャペルオルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たちが練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、ランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もどうぞお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。(入場料無料、申込不要)

日時：10月7日(土) 13:00~、10月28日(土) 13:00~

場所：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

10月8日(日) 10:00~11:00

10月22日(日) 10:00~11:00

◆CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

郵送先 〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155 関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

◆盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様のご協力をお願いいたします。